

山口県岩国市方言の比喩語について

野尻 国寛

はじめに

- 1、調査対象地：①岩国市立石 ②岩国市御庄
- 2、調査年月日：①1993年2月25日14時20分～16時20分
②1993年3月8日14時30分～16時10分
- 3、話者：①松浦初子 大正元年8月26日生（81歳）（同席者：松浦園江 昭和12年7月4日（55歳） 松浦茂 昭和45年6月23日（22歳））
②重村守三（73歳）（同席者：重村朱美（39歳） 重村美穂（14歳））
- 4、調査者：野尻国寛
- 5、調査場所：①②話者自宅居間
- 6、調査方法：カードの絵を示したり、口頭で補足説明したり、例を挙げたりして、話者になるべく多くの例を挙げてもらうよう心掛けた。質問は、頻度・新旧・使用年齢層の3つの観点で行った。（頻度は、使用年齢層での使用頻度を表す。）
〈注〉類似の事象は同席者の教示によるものである。事象の後に（ ）で記した。

I 〈自然現象〉

- 1 日照り雨 ○キツネノヨメイリ（狐の嫁入り）〈俗〉 中 古 老年層
- 2 入道雲 ○ニュードーグモ（入道雲）〈俗〉 盛 古 全年層
- 3 旋風 ○タツマキ（竜巻）〈俗〉
- 4 霜柱 ○シモバシラ（霜柱）〈俗〉 盛 古 全年層
- 5 つらら ○ツララ〈俗〉
- 6 北斗七星 ○ヒシャクボシ（柄杓星）〈俗〉 稀 老年層
- 7 昴 ○特になし。
- 8 流れ星 ○ナガレボシ〈俗〉

II 〈動物〉

- 9 かわはぎ ○ハゲ〈俗〉 盛 古 若年層以上
- 10 ひらめ ○ヒラメ〈俗〉
- 11 ひきがえる ○ワンビキ〈俗〉 盛 古 老年層 鳴き声が「ワーン、ワーン」と聞こえるから。大きいものが「ワンビキ」、小さいものは「ヒキ」。
- 12 青大将 ○ネズミトリ（鼠捕り）〈俗〉
- 13 とかげ ○トカゲ〈俗〉
- 14 かまきり ○カマキリ〈俗〉

- 15 みずすまし ○スイジン(水神)〈名〉中 古 老年層
 16 きつつき ○キツツキ〈名〉盛 ○ゴイシ〈名〉稀 老年層
 17 せきれい ○カワラスズメ(瓦雀・河原雀)〈名〉盛 老年層
 18 ふくろう ○フクロウ〈名〉

III 《植物》

- 19 馬鈴薯 ○ナシイモ〈名〉稀
 20 とうもろこし ○ナンマンキビ(何万黍)〈名〉盛 古 中年層以上 粒がたくさんついているところから。(南蛮黍ではないという。
 ○ナンマン(何万)〈名〉盛 古 老年層
 21 いんげん豆 ○トーロクマメ〈名〉盛 古 老年層 大きいことを「とうろく」と言い、いんげん豆が比較的大きいことからこの呼び名がついた。
 ○サンドマメ〈名〉盛 古 老年層
 22 そら豆 ○オーエンドー(大エンドウ)〈名〉中 古 老年層
 23 木くらげ ○クソナバ(糞ナバ)〈名〉「ナバ」はキノコのこと。「クソナバ」は食べることのできないキノコの総称で、キクラゲのみを指すものではない。
 24 げんのしょうこ ○ミコシグサ〈名〉盛 古 老年層 ミコシグサはイシャコロシの別名で、下痢止めの薬などになるという。
 ○イシャコロシ(医者殺し)〈名〉稀
 25 どくだみ ○ジョーログサ〈名〉盛 古 老年層
 ○ジョーログサ〈名〉盛 古 老年層
 26 いたどり ○テテッポー(手鉄砲)〈名〉盛 古 老年層 ポキンと折れるところが、鉄砲の音に似ているためという。
 ○ハイクタナ〈名〉中 古 中年層以上
 ○ハエタナ〈名〉中 古 中年層以上
 ○スッポン〈名〉中 中 若年層以上 折ったときの音から。
 ○スイスイバ(酸い酸いば)〈名〉盛 中 中年層 生でかじると酸っぱいところからか。
 27 からすうり ○カラ スウリ〈名〉
 28 すみれ ○ノノスミレ(野の葎)〈名〉
 29 春蘭 ○シュンラン〈名〉
 30 母子草 ○アズ キグサ(小豆草)〈名〉盛 中 中年層 花が小豆ににているところから。ままごとで小豆の代わりに使って遊んでいた。
 31 ねむの木 ○ネム リグサ(眠り草)〈名〉盛 古 中年層以上 触れると葉を閉じるところが、まるで眠るように見えるところから。
 ○オジギソー(御辞儀草)〈名〉盛 若年層以上

IV (性向)

- 32 熱しやすく冷めやすい人 ○アキヤス (飽きやす) (名) 盛 古 中年層以上
○ミボレ (見惚れ) (名) 盛 古 中年層以上
- 33 あわてんぼう ○ソッキョー (即興) (名) 中 古 中年層以上
○キツネオ ウマニ ノシタ (狐を馬に乗せた) (句) 稀 古
老年層
- 34 動作ののろい人 ○トロサク (とろ作) (名) 盛 古 若年層以上
- 35 嘘つき ○センミツ (千三つ) (名) 稀 古 老年層 千のことをしゃべっても本当のことが三つしかないから。
○センミー (千三い) (名) 稀 古 老年層
- 36 ほらふき ○オーブロシキ (大風呂敷) (名) 盛 古 若年層以上 (類) ○アリー
ヤー フロシキガ フトインジャケー。
○オーブロシキ (大風呂敷) (名) 中 中 中年層以上
- 37 おしゃべり ○クチハッチョー (口八丁) (名) 盛 中年層以上 比較的的女性
に対して使う。
○ベンシ (弁士) (名) 中 中年層以上 かなりのおしゃべりの
人に対して使う。女性に対しては使わない。
- 38 冗談言い ○オチョーシ (お調子) (名) 稀 古 中年層以上
- 39 口先だけの人 ○オベンチャラ (名) 中 古 若年層以上
○クチバッカシ (口ばかり) (句)
- 40 とんちんかんなことを言う人 ○トージン (唐人) (名) 稀 古 中年層以上
わけの分からないことや、わけの分からない人の事を言う
○ケットージン (毛唐人) (名) 老年層 外国
の人はおかしいからだという。「とうじん」に輪をかけておかしい人のこと。
- 41 のらりくらり煮え切らない人 ○クニャクニャシ Chol (句) 中 老年層
○シャンシャンセン (句) 中 中年層以上
- 42 怒りっぽい人 ○カンシャクポー (癡癡棒・癡癡坊) (名) 中 中年層以上
- 43 気むらな人 ○特になし。
- 44 泣き虫 ○ピータレ (名) 中 中年層以上
- 45 おてんば娘 ○オトコマサリ (男勝り) (名) 盛 古 若年層以上
- 46 腕白坊主 ○シゴンナラン (句) 中 古 若年層 魚をさばくことを「しごず
る」といい、扱いにくい人のことをこのように言う。
○ガキ (餓鬼) (名) 老年層
- 47 でしゃばり ○オデシャ (名) 老年層
- 48 どこへでも顔を出す人 ○デベソ (出臍) (名) 中 古 中年層以上

○デガメ (出亀) <名> 中 古 中年層以上

49 家にもって外出しない人 ○ミソオケ (味噌桶) <名> 盛 古 中年層以上
(類) ○ミソオケガ デタケー キョーワ アメジャー。

○クドノ マワリガ ニホン (くどうの周りが日本) <名> 「くどう」は、昔、炊飯のとき釜をおいて火を焚くときに使われた。

50 小心者 ○ショートギモ (しょうと肝) <名> 中 古 中年層以上 「しょうと」は小さい鳥の名前。その小鳥の肝のように気が小さいこと。

51 内弁慶 ○ウチベンケー <名> 盛 古 若年層以上 反意語として「ウチフスベノ ソトニギヤカシ (内ふすべの外賑やかし)」がある。「ふすべ」とは煙たいことで、暗い感じがする。

52 人づきあいをしなない人 ○ヘンケー (変くう) <名> 盛 中年層以上 人付き合いをしなない人も含めて、変わっている人のことをいう。

53 妻に対して頭の上がない男 ○ヨメサンノ シリニ ヒカレトル (嫁さんの尻に鞆かれて敷かれて) <名> 盛 古 若年層以上

54 けち ○ニギリ (握り) <名> 中 古 中年層以上
○イシブキンキチ (石部金吉) <名> 盛 古 中年層以上 人の名前にあつらえて、石や金のようにかたい、出し惜しみする人のことをいう。

55 欲張り ○ニギリ (握り) <名> 中 古 中年層以上

V (食生活)

56 大食漢 ○ハンドバラ (はんどう腹) <名> 稀 古 老年層 「はんどう」は水汲み桶のこと。

○バカノオーグイ (馬鹿の大食い) <名> 中 古 若年層以上

57 ぼたもち ○ボタモチ (牡丹餅) <名>

○オハゲ (お剥げ) <名> 盛 古 若年層以上 作るときに餡がはがれるからだという。「おはげ」のほうが「おはぎ」よりも古い。

○オハギ <名> 中 中 若年層以上

58 砂糖味が薄い ○サトーヤノ マエオ カケッテ トーッタ (砂糖屋の前を駆けて通った。) <名> 稀 古 老年層 塩や味噌のときには使わない。

59 塩味が薄い ○シオヤガ トーイカッタ (塩屋が遠かった) <名> 稀

○トボケトッタ <名> 盛 古 若年層以上 塩に限らず、何でも味が薄いときに使う。濃いときには使わない。

60 大酒飲み ○オロチ <名> 稀 老年層

○ノミスケ (飲み助) <名> 稀 古 若年層以上

○ソコガ ナイ (底が無い) <名> 盛 古 中年層以上 酒に限らず、

食べるときにも使う。

- 61 酒に酔ってくだをまく ○グダマキ (管巻き) 〈名〉 盛 古 中年層以上
62 酒に酔って顔が赤くなる、そのさま ○キントキニナル (坂田)金時になる) 〈名〉 盛 古 老年層

VI 〈動作・様態〉

- 63 恥ずかしくて顔が赤くなる、そのさま ○特になし。因に、顔が赤くなったり青くなったりする様は、「七面鳥」にたとえられる。
64 土砂降りの雨 ○ドシャブリ (土砂降り) 〈名〉
○ザーザーブリ (ざあざあ降り) 〈名〉
65 ずぶ濡れ・びしょ濡れになる、そのさま ○ビショヌレ (びしょ濡れ) 〈名〉
66 服装がだらしないさま ○ヘコタレ (へこ垂れ) 〈名〉 中 古 中年層以上
シャツなどが出ているとき、「へこが出る」という。和服でも、だらしないときには、「ソナナコト セント チャント キテ イキンサイ。ヘコタレガ。ヒトガ ヘコタレ ユーガ。」といわれたという。
67 髭が伸び放題なさま ○特になし。髭の長い人形にたとえることもある。
68 厚化粧をしている人 ○コテヌリ (鍍塗り) 〈名〉 稀 古 老年層
○オバケ (お化け) 〈名〉 中 中 (大正後期) 老年層
69 背丈の高い人 ○ノッポ 〈名〉 中 古 若年層以上 すらっとした、背の高い人のこと。
○ニユードー (入道) 〈名〉 中 古 老年層 「のっぽ」に対して、肉付きのよい背の高い人のことをいう。
70 出びたい ○デビ 〈名〉 盛 古 老年層
○デベ 〈名〉 盛 古 老年層 著しいものは「オーデベ」と呼ばれる。
○デビチン 〈名〉 盛 中 中年層以上
71 汗がひたいから流れ落ちる ○タマノ アセガ デル (玉の汗が出る) 〈名〉 中 古 若年層以上
○オーアメノヨーナ (大雨のような) 〈名〉 稀 古 老年層
○オーアメニ アッタヨーナ (大雨に会ったような) 〈名〉 稀 古 老年層
72 目を丸くする ○特になし。
73 口をとがらす ○特になし。
74 焦げ臭いにおい ○特になし。
75 遠回りをする ○オーマワリ (大回り) 〈名〉

- 76 末っ子 ○オトンボ (オトの坊) <名> 盛 古 中年層以上
 ○オトンボ (オトの坊) <名> 中 古 中年層以上 「おと」は「最後」「末」の意だという。「おとんぼ」は、特に男の子に対して使われるが、女の子に対して使われることもある。
 ○オトゴ (オト子) <名> 盛 古 中年層以上 「おとんぼ」に対して、「おとご」は女の子に対して使われる。
- 77 一生懸命頑張る ○イカ チウマ (伊薩馬) <名> 中 中年層以上 「伊薩」は岩国市御庄付近の地名。「伊薩馬」は一生懸命わき目もふらずまっすぐ走って行くことである。本人にとっては一生懸命かもしれないが、周りから見ればただ突っ走っているだけに過ぎない。
 ○ギバル <動> 中 古 若年層以上 「気張る」から転じたものか。因に、物やお金をあげることも「ぎばる」という。

まとめ

今回の調査で得られた比喩語をみると、造語法的には次のような特徴があった。例えば、ヒシャクボシ・ワンビキ・ミコシグサ・ハンドバラ・ドシャブリなどのように、ホシ・ビキ・クサ・ハラ・フリという元の意味を表す土台があり、それにヒシャク・ワン・ミコシ・ハンド・ドシャという比喩的要素を付け加えることによって比喩語を作る。このパターンが多くみられた。

次に造語発想的には、その形状や性質などを、他のよく似たものに直接たとえる場合が多かったが、比喩に使われるものが、ミソオケ・ハンド・フロシキ・クドーなど、その比喩語が作られた当時の生活が色濃く反映されているのも興味深い。ただ、今回の調査の比喩語には、質問項目の内容のせいもあるのだろうが、どちらかというとなイナスイメージのものが(特に<性向>の分野に)多かった。プラスイメージのものよりも、マイナスイメージのもののほうが比喩語を作りやすいということであろうか。他に、目についたものとしては、トロサク・ノミスケ・イシブキンキチといふように、ひとの性向を名前にあつらえて使う場合である。三例しか得られなかったが、言葉を楽しむ人々の遊び心が垣間見られるようである。

(のじり くにひろ 宮崎県立飯野高校)